

公立中学校における 令和4年度「英語教育実施状況調査」の結果について

令和5年5月17日に文部科学省から発表された標記の件について、岡山市の結果を分析したものを公表します。

1 日時

令和5年5月25日(木)

2 内容

文部科学省が全国の公立学校を対象に行った標記の調査について、岡山市立中・義務教育学校38校、第3学年生徒5,614名の結果をお知らせします。

全調査項目のうち、「生徒の英語力」「英語担当教師の英語力」「授業における英語担当教師の英語使用状況」「小中連携の状況」の項目をまとめています。

「生徒の英語力」「英語担当教師の英語力」「授業における英語担当教師の英語使用状況」は前年度より上昇傾向にあり、各学校の授業改善により向上しているものと捉えています。「小中連携の状況」については、岡山市立学校では、岡山型一貫教育により、英語教育についても情報共有等の小中連携を図ってきており、高い水準となっております。令和4年度からは、連携内容の一層の充実に努めることとしたため、各学校がその観点で評価したところ、この数値となったと考えています。

今後も、生徒の英語力向上に向けた授業改善に取り組んでまいります。

3 その他

詳細は別紙にてご確認ください。

【問い合わせ先】

岡山市教育委員会事務局学校教育部学校指導課 西山・坪井・佐藤

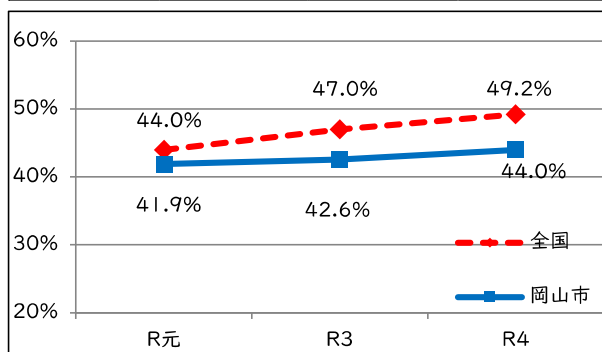
直通086-803-1591 内線3843・3844

公立中学校における令和4年度「英語教育実施状況調査」の結果について

○対象：岡山市立中・義務教育学校 38校 / 第3学年生徒 5614名 / 英語担当教師 177名

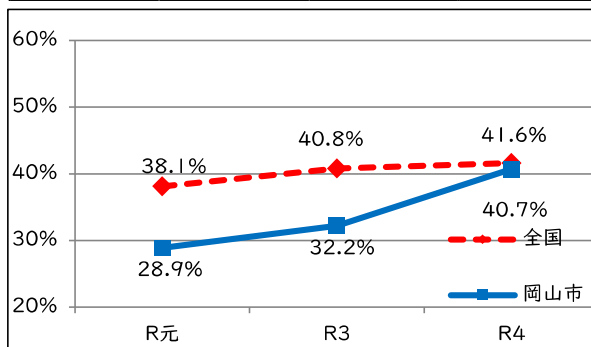
1. 生徒の英語力（英検3級以上相当）

	R元	R3	R4
岡山市	41.9%	42.6%	44.0%
全国	44.0%	47.0%	49.2%



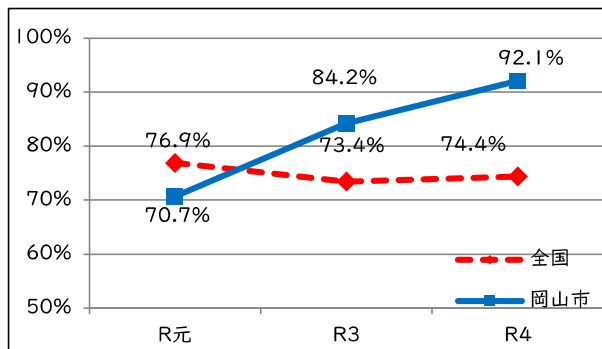
2. 英語担当教師の英語力（英検準1級等以上）

	R元	R3	R4
岡山市	28.9%	32.2%	40.7%
全国	38.1%	40.8%	41.6%



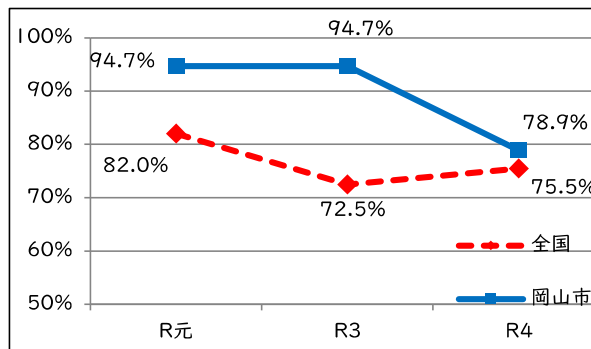
3. 授業における英語担当教師の英語使用状況 （発話の半分以上を英語で行っている教師の割合）

	R元	R3	R4
岡山市	70.7%	84.2%	92.1%
全国	76.9%	73.4%	74.4%



4. 小中連携の状況 （小中連携を実施した中学校の割合）

	R元	R3	R4
岡山市	94.7%	94.7%	78.9%
全国	82.0%	72.5%	75.5%



<岡山市の結果及び今後の取組について>

- 生徒の英語力について、全国平均は下回るものの、授業改善により、向上傾向にある。
- 教師の英語力について、「英語担当教員英語力向上事業」の実施により、大幅に向上し、ほぼ全国に並んだ。
- 教師が授業において、説明や指示、会話等の発話の半分以上を英語で行う割合は一層向上した。
- 小中連携の状況について、令和4年度から、連携の内容の充実を求めたため、一部の学校で、厳しい自己評価が行われ、割合が下がったと考えられる。
- 英語担当教員対象の研修等や公開授業研究会の実施により、各学校において学習指導要領の趣旨に基づく授業改善が進みつつあると考える。
- 今後は、生徒の英語力を客観的に把握したデータに基づいた授業改善に取り組み、生徒の英語力向上に努める。